

入院すると『せん妄』^{もう} を起こすことがあります



『せん妄』とは

せん妄とは、以下のようなことが原因で、一時的に意識が混乱することです。

- 全身状態が悪い
- 手術の後
- 脳、心臓、呼吸の病気で重症な状態 など

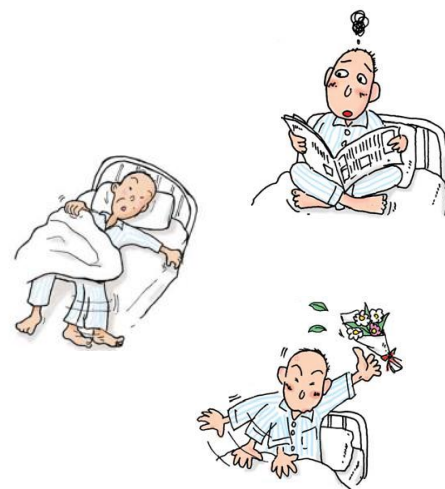
『せん妄』になりやすい人

- 高齢の方
- 物忘れが目立ってきた方
- 脳梗塞や脳出血になったことがある方
- せん妄になったことがある方
- アルコールや睡眠薬を飲む習慣がある方

『せん妄』のときの体の変化や特徴

※全ての方にみられるわけではありません

- 場所や時間が分かりにくくなる
- 実際にはないものが見えたり、聞こえたりする
- 睡眠のリズムが乱れる
- 落ち着きがない、そわそわする
- 話のつじつまが合わない
- 荒っぽくなったり、怒りっぽくなったりする
- 治療のための管を抜いてしまう



せん妄を治療しないと、**治療中の身体の病気が悪化**したり、**入院期間が延長**したりすることがあります。

上記の症状に気づかれた場合は、医師、看護師にお知らせください。

『^{もう}せん妄の予防と対応』について

一緒に考えていきましょう



せん妄は、身体の病気による症状であり、「**気の持ちよう**」や「**こころの問題**」ではありません。認知症や精神病とは違います。適切な治療を行えば、症状が改善するといわれています。

せん妄予防のポイント

日付や場所の確認をしましょう

・時計やカレンダーを近くに置く

睡眠・覚醒リズムを整えましょう

・日中の活動の助けとなるもの（本、新聞、テレビ、ラジオ、軽い運動など）を活用
・朝から日光を取り込んで部屋を明るくする

普段使用している眼鏡、補聴器は正しく着用しましょう



ご家族の方へ

- つじつまの合わない話があったとき、「おかしい」と指摘すると、かえって患者さんの誇りを傷つけることがあります。**無理に正すことはしないようにしましょう。**
- 痛みや便秘など、患者さんが気になっている症状は**早めに医療者へ相談**しましょう。
- ご家族がそばにいるだけで患者さんは安心されます。**普段通りの言葉かけをお願いします。**

